



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
RI会長 シェカール・メータ

2021-2022年

Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST



海南東ロータリークラブ

会長 魚谷 幸司 幹事 宇恵 久視 SAA 楠部 均

第 2073 回例会

2021年10月18日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

会員卓話 「クラブ米山委員長会議報告」
米山記念奨学会委員長 清水 敏光 君

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
3. 出席報告

会員総数 41名 出席者数 22名
出席義務規定適用免除会員 1名
出席率 56.41% 前回修正出席率 69.23%

4. 会長スピーチ 会長 魚谷 幸司 君

皆様こんにちは。急に寒さを実感するような気候となっておりますが、ご健康には留意頂きたいと思っております。本日は米山委員長の清水さんより「クラブ米山委員長会議」の報告をして頂きます。後ほど宜しくお願い致します。



10月11日に行われた理事会の報告をさせていただきます。コロナ禍の奉仕活動のテーマにつきまして、まず2月に行われる予定の清掃活動ですが、社会福祉協議会も参加しての清掃活動になる予定です。日程が決まりましたらすぐにでもお伝えいたします。理事会では寄付というより汗を流しての奉仕がしたいというご意見が出ました。「水辺の清掃活動」が地区のテーマにもなっております。当クラブ独自の清掃活動を計画いたしますので、その時はご協力頂きたいと思っております。児童養護施設への関わりについて社会奉仕委員長の奥さんが施設に直接尋ねてくれました。施設からは「具体的な企画を出してもらい、吟味する。」との返答であり保留とさせていただきます。フードバンクへの寄付(生活困窮者支援)も実行していきたいと思っておりますが、今後の検討とさせていただきます。動物愛護センターへの協力は難しそうですが今後検討させていただきます。

出席率の向上につきましては、例会当日の朝、グループラインで出席を呼びかける。これはすでに宇

恵さんが実行して下さっています。コロナに備えオンライン例会と対面式の例会の開催を検討する。前田さんからは「僕だけに任さないで」とのお言葉がありました。その他、「可能であれば月見例会、花見例会など違う場所で食事をする」というご意見も実行に移したいと思っております。

会員増強につきましては地道にアタックする、今まで候補になった方に再度声掛けをするなどの意見が出ましたが、そんな中増強プロジェクトチームをつくるという案が出ました。遅ればせながら、私が会長の時にプロジェクトチームを立ち上げたいと思っておりますのでご協力の程宜しくお願い致します。

新春夫婦例会は開催の予定です。内容につきましては親睦委員長の田中淳さん中心に決めて頂く予定です。

当クラブのOA機器の購入につきまして、PCチャレンジより見積もりをあげて頂き承認されました。ご報告させていただきます。

明日、衆議院選挙の公示があり、10月31日投票票で行われます。この時期、いつものことですが演説等で診察の邪魔をされ不快な気分になりますが、仕方のないことであります。皆さま、投票には行くように致しましょう。

5. 幹事報告 幹事 宇恵 久視 君

○休会のお知らせ

高野山RC 10月29日(金)

6. 会員卓話 米山記念奨学会委員長 清水 敏光 君

「クラブ米山委員長会議報告」
みなさん、こんにちは。10月9日、クラブ米山委員長会議に出席しましたので報告させていただきます。



ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給、支援し、将来、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する人材の育成を目的としています。

10月は経済と地域社会の発展・米山月間です

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ① 真実かどうか ③ 好意と友情を深められるか
② みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

http://www.kainaneast-rc.jp

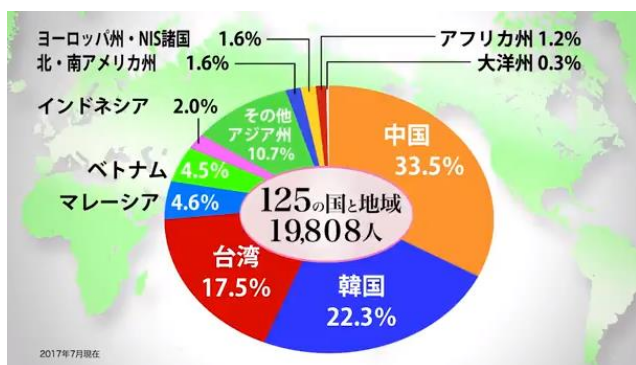
E-mail : info@kainaneast-rc.jp

- ・ビデオ 紹介 (15分)
- ・豆辞典 説明

事業の歩み

- 1952年 東京 RC が奨学事業の構想を立案
- 1953年 「米山基金」の募金開始
- 1954年 奨学生第1号のソムチャード氏 (タイ)
- 1957年 新組織「ロータリー米山奨学委員会」を結成
- 1958年 新組織初の奨学生8人を採用
- 1959年 世話クラブ制度設置
- 1960年 「ロータリー米山記念奨学会」と改称
- 1967年 「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立
- 1971年 カウンセラー制度設置
- 1972年 米山功労者制度の設定

などを経て、現在に至っています。特にこの間、2004年には RI 理事会で米山記念奨学事業が賞賛を受けるなど日本のロータリー独自の事業として発展してきました。



米山記念奨学生の出身者が設立したモンゴルの学校

2020-21年度の寄付金収入は13億3,684万円と、前の年度とほぼ同額でした。しかし、個人平均寄付額は約500円増の15,516円、また、特別寄付者割合は46.4%と、コロナ禍にありながらも多くのご支援をいただきました。寄付金のほとんどは奨学金に、そのほか、奨学生・学友関係費、地区・世話クラブへの補助費、事業部門の事務局人件費などの事業費に使われています。

皆様のご協力とご寄付をお願いします。

7. 閉会点鐘

【次回例会】

10月25日(月) 12:30～ 海南商工会議所 4F
 ゲスト卓話 「近年のJC活動について」
 海南青年会議所理事長 寺下 裕崇 様



ニコニコ・BOX

宇恵 久視 君 清水さん、本日はお疲れ様でした。
 楠部 均 君 同 じ



ポリオ根絶 チャンスは今

「“ポリオ根絶”ということ自体について考えることがあるのです」。こう語るのは、世界保健機関のポリオ根絶ディレクター、エイダン・オリリー氏です。「達成に向けて確実に進んでいると多くの人と言う一方で、なかなか実現しない。“根絶”とは“ゼロサムゲーム”、つまりゼロを達成しなければすべて失敗です。少しずつ近づいてはいても、究極的に『ゼロ』以外の数字は無意味なのです」緑豊かなアイルランド西部の町、ゴールウェーの自宅からインタビューに答えるオリリー氏の頭の中は、地球上で野生型ポリオの感染が今も続く二つの国、すなわち紛争で荒廃したアフガニスタンと砂塵の舞うパキスタンのことについてです。

新型コロナウイルスが流行してしようと、厳しい現実と直面しようと、ポリオ根絶の可能性については楽観的に考えています。「新型コロナの流行中は特に、感染率の高い伝染病の根絶への共感が高まる」とオリリー氏。「新型コロナの感染拡大により、なぜ今ポリオを根絶すべきなのかを理解する人が増えています」

とはいえ、切迫感と現実感によって、この楽観主義にも陰りがさしています。「油断は絶対に許されません。重要なのは、これまで見逃されてきた子どもたちに確実にワクチンを投与するために、2倍の努力を注ぐことです」(中略)

「プログラムで一番大切なのは、前線で活動するワクチン投与者と戸別訪問を受ける世話人との関係です」

新型コロナウイルスにより、ワクチンへの注目が高まっています。これはポリオワクチンへの抵抗を減らすことにも影響していますか。

アフガニスタンとパキスタンでの根本的な問題は、家庭やコミュニティの信頼に関係していると思います。信頼という基本さえしっかりとできていれば、80～90%は達成したと言えます。しかし、残りの10～20%が難しいのです。カギとなるのは、地域社会の周縁化というより大きな課題です。これは、家庭や地域社会だけで対応できるものではありません。地域社会の実際のニーズを的確に把握し、より確かな方法で解決策を導き出すために、体系的な関与が必要です。

世界を変える行動人